

1 目的

- ・ 困っている子に寄り添い、「何か私にできることある？」と声をかけ、子どもの心に大人への安心感と信頼感を育てる。
- ・ 学校にとって、数年で異動する教職員は「風」、地域で生きる大人は「土」。地域の未来をになう子どもを、地域の大人で育む。教育は協働で行う。

2 活動

- ・ 校長室でサポーターとしての登録を行ってから活動を始めます。いつでも登録を受け付けています。気軽にご相談にお越しください。
- ・ 学校では「よその子」に関わります。わが子には親の背中で語りましょう。
- ・ 児童の見守りに無理は禁物。廊下から眺めるだけでも立派なサポーター活動です。廊下でのサポーター同士の会話、子どもに手を振るは禁忌行為。
- ・ 細く長く活動していくために、活動日や時間、回数、活動内容などを定めません。
- ・ 少なくとも月に 1 回程度は活動に参加していただきたいです。強制はしません。
- ・ 隙間時間に、地域の物である学校に、地域の大人として、教職員と対等の立場で、子どもに関わります。隙間時間なので 1 時間でも 15 分でもよいです。
- ・ 業務ではないので、子供へのかかわりについて責任は伴いません。教職員の目や手が届かない隙間を埋める意識で活動します。プール監視、草抜き、枝払い、花壇管理等も活動に含みます。
- ・ 活動中の不測の事故に備え、市のボランティア保険に加入します。手続きは学校が行います。掛金は市が負担します。
- ・ 活動の記録をとるために、活動参加日は、学校が用意したカレンダーに氏名を記入することとします。
- ・ 学校の行事などの基本的な情報は学校 HP で取得してください。
- ・ 校長室で休憩をとってください。1 杯 100 円の寄付でコーヒー等飲み物を喫食していただけます。この費用は職員親睦会費に充てます。喫食の後始末も各自で行ってください。対等の立場ですので遠慮は無用です。
- ・ 活動中に知った児童個人に関わる情報や、職員間のやり取りなどの情報は、学校との信頼関係の下、家族を含める他人に口外や発信はしてはいけません。
- ・ 個人の荷物は校長室の所定の場所に置くことができます。
- ・ 活動の開始と終了時は、校長か教頭に一声かけてください。
- ・ 活動中は不審者侵入との判別を容易にするため、学校が用意した名札をかけます。
- ・ 退会、入会は随時可能です。窓口は校長です。